

第 2 回 ODA 改革パブリックフォーラム

開催のご案内

今、地球温暖化や行き過ぎた自由貿易による食糧危機と経済危機など地球規模で貧しい人たちの生活がますます追い詰められています。こうした中、国際社会に対する主権国家の責務として ODA（政府開発援助）のあり方に注目が寄せられています。

国際社会の援助動向を見ると、ミレニアム開発目標（MDGs）が国際合意として揚げられ、先進援助国の援助改革の指針として「援助効果にかかるパリ宣言」が採択されました。一方、日本の ODA が真に効果的に使われているのか、途上国の弱い立場の人々の役に立っているのかという点については様々な課題が提起されています。

そこで、第 2 回 ODA 改革パブリックフォーラムでは、国際的な援助動向を踏まえて、日本の ODA の課題と実施体制の見直しについて議論したいと考えています。主催 NGO 団体の立場を明確にする上で、このたび「国際協力・ODA の抜本的見直しに関する国際協力 NGO の共同提言 2009」を作成し、賛同団体を募りました。この共同提言を第 2 回 ODA 改革パブリックフォーラムの場で紹介し、日本の ODA 改革の議論の導入とします。

なお、共同提言書及び最新のプログラムは下記の URL よりご覧になれます。

URL: <http://www.janic.org/news/2oda1128.php>

日時 2009 年 11 月 28 日（土）
13:45～21:00（3 部構成）

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 国際会議室 他
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

共催団体（特活）国際協力 NGO センター（JANIC）、
ODA 改革ネットワーク、
（特活）関西 NGO 協議会、（特活）名古屋 NGO センター

助成団体（財）大竹財団

参加費 1,000 円（学生 500 円）

参加の方法

下記、申し込みフォームに必要事項をご記入の上、FAX かメールで事前にお申してください。なお、空席があれば当日参加も受付いたします。

分科会に関しては、可能な限り第 1 希望へのご参加を優先いたしますが、

場合によっては第 2 希望の分科会へのご参加となることがございますので、ご了承ください。



※赤線は、参宮橋駅からの歩道橋を使った経路です。
青線は、参宮橋駅からの横断歩道を使った経路です。

申込書			ご所属先名	
お名前（ふりがな）			お役職名	
ご連絡先 （Tel） / （Fax）			（E-mail）	
ご参加方法（で囲んで下さい）			ご参加を希望する分科会	
第 1 部～第 3 部 通して参加	第 1 部～第 2 部のみ	第 3 部のみ	第一希望	第二希望

お申し込み・事務局連絡先

特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター（JANIC） 調査・提言グループ担当者宛

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 アパコビル 5F

Tel: 03-5292-2911 Fax: 03-5292-2912 E-mail: advocacy@janic.org

プログラム（案）

【第1部】趣旨説明と共同提言書の発表

主催者による趣旨説明と共同提言書の発表をする。

時間：13:45～14:45

会場：国際交流棟 国際会議室

【第2部】分科会

4つの分科会に分かれて多角的に議論する。

時間：15:00～17:00

《第1分科会 国際交流棟 国際会議室》

『援助効果にかかるパリ宣言』の視点から見た日本のODAの課題とODA実施体制について

パリ宣言、AAAの視点から見た日本のODAの課題と実施体制、援助効果向上の視点から見たOECD/DACピアレビューの振り返りと今後の対応、及び2011年の援助効果向上第4回ハイレベルフォーラムに向けたロードマップについて討議する。

パネリスト

伊藤 恭子氏(外務省 国際協力局 開発協力企画室長)
牧野 耕司氏(独立行政法人 国際協力機構 企画部参事役兼国際援助協調課長)
柳原 透氏(拓殖大学 国際学部 教授)
遠藤 衛氏((特活)国際協力 NGO センター 政策アドバイザー/
神戸大学大学院国際協力研究科)

ファシリテーター

下澤 嶽氏((特活)国際協力 NGO センター 事務局長)
[コーディネーター団体：(特活)国際協力 NGO センター]

《第2分科会 センター棟 513号室》

MDGs達成に向けた日本のODAの課題とODAの実施体制

国連ミレニアム開発目標の達成に向けた日本の貢献を模索する各セクターの専門家が、今の日本のODA体制で阻害要因があるとすれば何か、いかに克服すべきか、また「国際協力省」を設置するのであれば、留意すべき点は何か、などについて討議する。

パネリスト

山内 康一氏(みんなの党 国会対策委員長 副幹事長・衆議院議員)
前田 未央氏(外務省 地球規模課題総括課企画官)
大崎 麻子氏(国連開発計画 東京事務所 政策スペシャリスト)
目黒 依子氏(上智大学 名誉教授/国連婦人の地位委員会日本代表)
稲場 雅紀氏(「動く 動かす」事務局長/(特活)アフリカ日本協議会
国際保健部門ディレクター)

ファシリテーター

片山 信彦氏((特活)ワールド ビジョン ジャパン 常務理事・事務局長)
[コーディネーター団体：動く 動かす (GCAP Japan)]

《第3分科会 センター棟 502号室》

軍による人道復興援助とODA

「軍による人道復興支援」についてなぜ今議論する必要があるのかをベースに多角的に議論すると共に、その中で日本にはどのような選択肢があるのか、また人道復興支援における日本のODAの実施体制の課題は何かについて討議する。

パネリスト

山田 彰氏(外務省 国際協力局参事官)
長嶺 義宣氏(赤十字国際委員会駐日事務所 所長)
長谷部 貴俊氏((特活)日本国際ボランティアセンター(JVC)
アフガニスタン事務所代表)

ファシリテーター

清水 俊弘氏((特活)日本国際ボランティアセンター(JVC))
[コーディネーター団体：(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC)]

《第4分科会 センター棟 503号室》

ODA上位政策への市民参加プロセスのあり方に関する課題とODA実施体制

これまで外務省が行ってきたODAに関する政策方針決定が、新政権下においてどう変化するのか、近々行われるであろうODAの中期政策の見直しを視野に入れ、そこに市民社会がどのように参加することが可能であるか討議する。

パネリスト

川村 暁雄氏(関西学院大学 教員)
小林 幸治氏(市民がつくる政策調査会 事務局長)
清水 規子氏(FoE Japan 開発金融と環境 プログラムスタッフ)
その他

ファシリテーター

高橋 清貴氏(ODA改革ネットワーク 世話人)
[コーディネーター団体：ODA改革ネットワーク]

【第3部】全体討議

『ODA基本法そして国際協力省 是か非か』

分科会での議論の報告を受けて、パネリストによる討議を行う。

時間：18:00～21:00

会場：国際交流棟 国際会議室

パネリスト

藤田 幸久氏(民主党 国際局長・参議院議員)
阿部 知子氏(社民党 政策審議会長・衆議院議員)
廣野 良吉氏(成蹊大学 名誉教授)
竹内 幸史氏(朝日新聞社 編集委員)
熊岡 路矢氏((特活)国際協力 NGO センター 理事)
ファシリテーター
大橋 正明氏((特活)国際協力 NGO センター 理事長)